

湖周行政事務組合ごみ処理施設建設に係る
環境影響評価方法書の概要

平成23年10月
湖周行政事務組合

事業内容の整理

事業内容の整理

方法書P1～P17

- 廃棄物処理施設（ごみ焼却施設）建設
- 岡谷市清掃工場の敷地内に建設
- 岡谷市、諏訪市、下諏訪町の可燃ごみを処理
- 処理規模は120t／日（60t／24h×2炉）
- 平成27年度供用開始予定
- 処理方式は現在検討中

環境影響評価の項目の選定

選定した項目

方法書 P142

	大気質	騒音	振動	低周波音	悪臭	水質・水象	土壌汚染	地盤沈下	地形地質	植物	動物	生態系	景観	ふれあい活動の場	文化財	廃棄物等	温室効果ガス等
工事中	○	○	○			△	△		△		○			○		○	○
存在・供用	◎	○	○	○	○		○		△	○	○	△	△	○		○	○

◎：重点化項目、○：標準項目、△：簡略化項目、無記入：非選定項目

事業計画及び立地条件等の特徴

事業計画及び立地条件等の特徴

- ①建設地は盆地周縁部の斜面に位置する
(方法書 P 21, 92)
- ②建設中は、岡谷市のごみの焼却処理を
諏訪市、下諏訪町等で行う予定
(方法書 P 16)
- ③稼働後は、岡谷市内を通行するごみ収集車
の台数が増加する
(方法書 P 16)
- ④建設に際し、現在の施設の解体を行う
(方法書 P 16, 17)
- ⑤都市公園 (鳥居平やまびこ公園) に隣接する
(方法書 P 21, 30, 116, 122)
- ⑥現在の焼却施設の敷地内に建設する
(方法書 P 2, 3, 5)

方法書への反映

特徴①

盆地周縁部の斜面に位置する

方法書

P 143,144

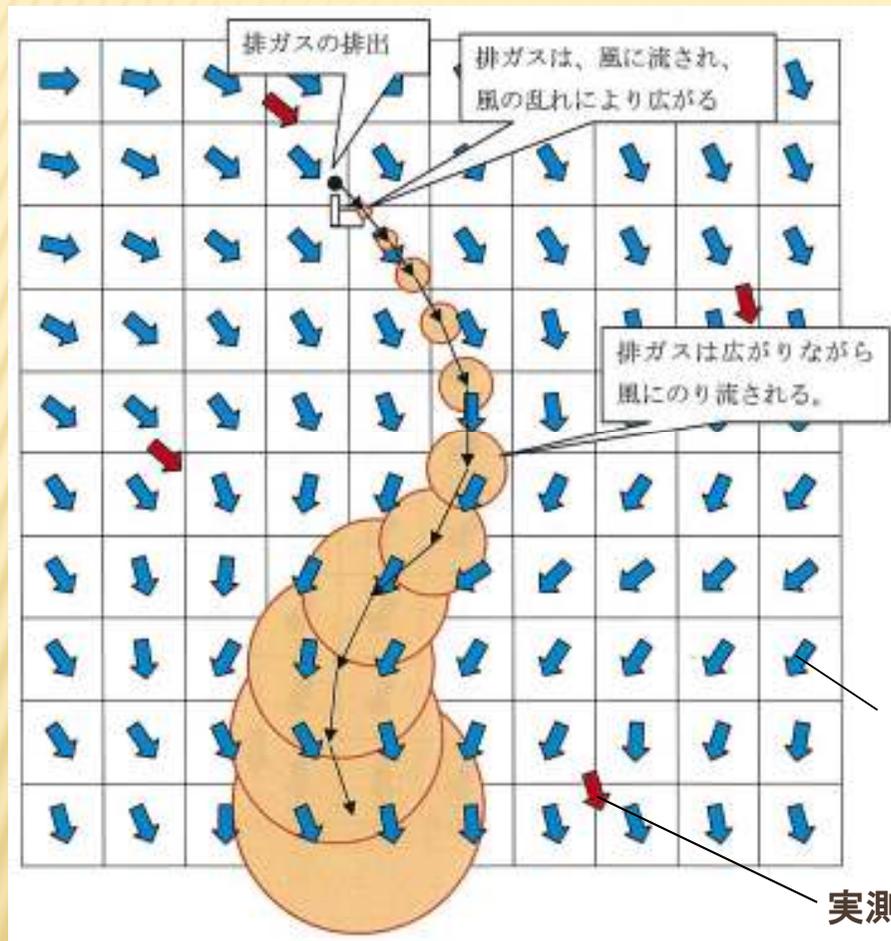
P 161～P 169

○排ガスの拡散が地形の影響を受ける

→複雑地形を考慮した大気の拡散予測

- ・三次元マスコンモデルによる風系推計
- ・移流パフモデルによる大気拡散予測

複雑地形を考慮した大気予測



■三次元マスコンモデル

地上気象の現地調査の結果を用いて、地形の影響を加味した風向風速をモデル化する。

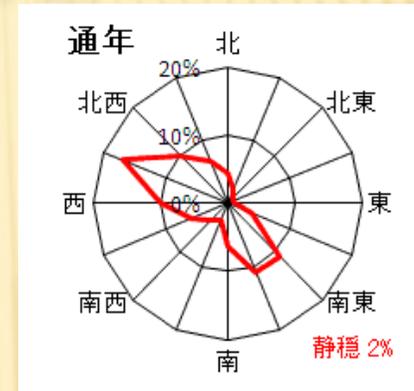
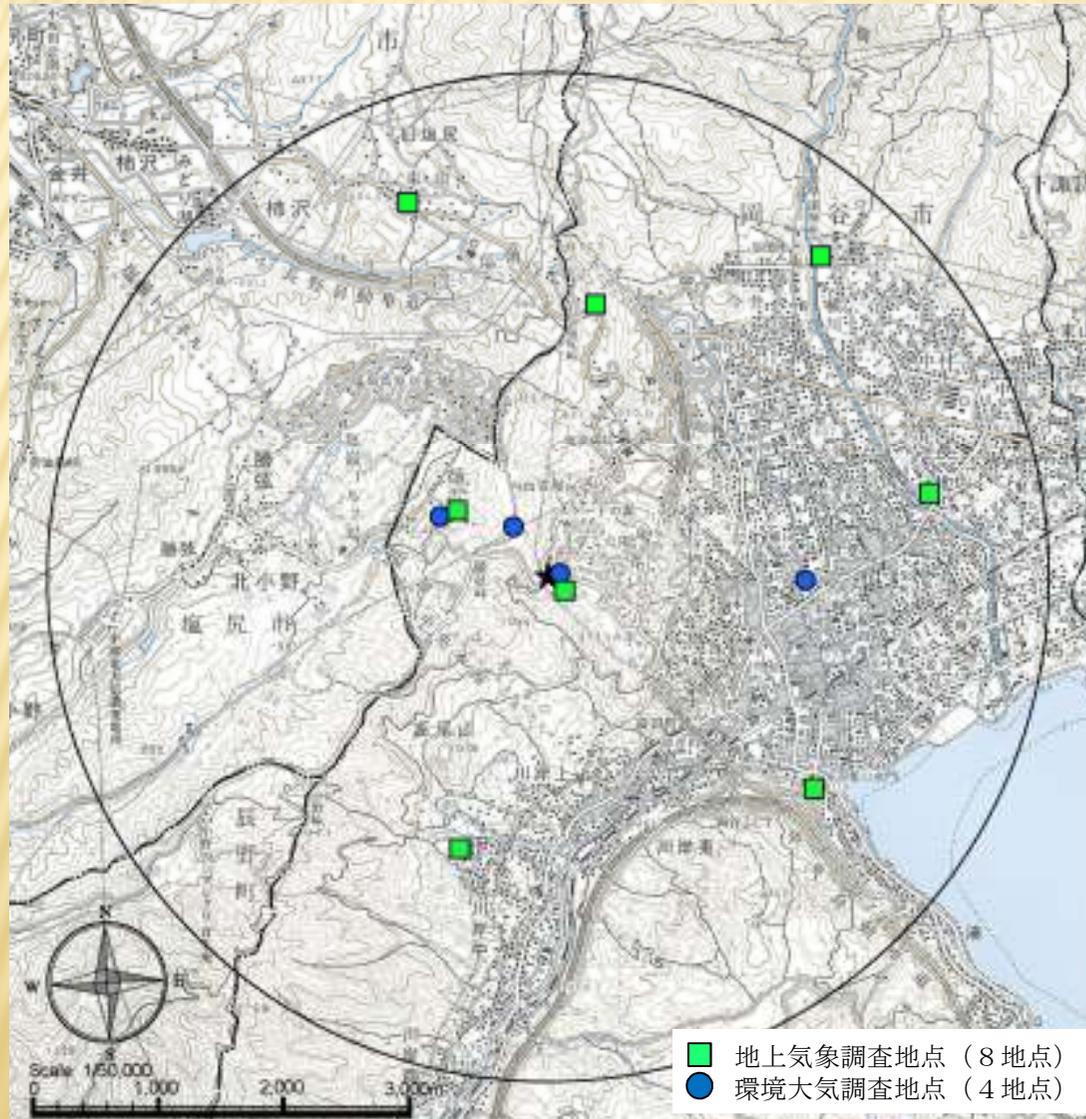
■移流パフモデル

モデル化された風向風速をもとに風に乗って排ガスが拡散する現象を再現する。

大気の拡散シミュレーションのイメージ

(三次元マスコンモデル、移流パフモデル)

建設地周辺の地形と調査地点



諏訪地方気象観測所における
風向別出現頻度

- 地形を考慮して、三次元マスコンモデルに必要な風向風速の実測地点を選定。
- 主な風向を考慮して、地域を代表する環境大気の調査地点を選定。

環境大気と地上気象の調査地点

特徴②

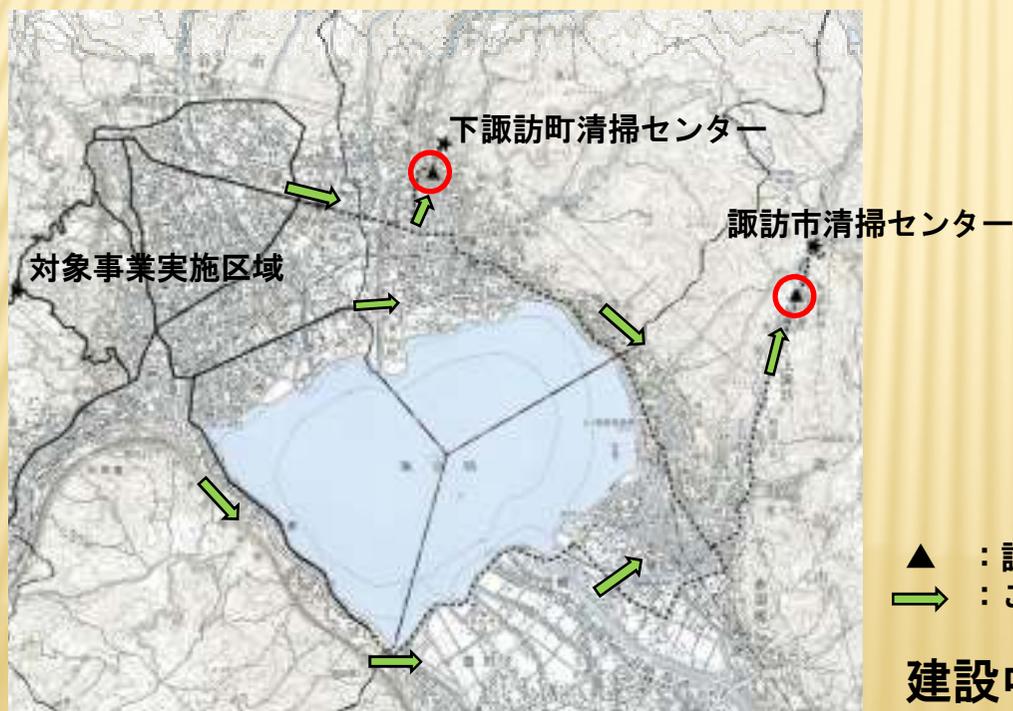
諏訪市、下諏訪町等でのごみ処理

方法書 P 143,145,146
P 161～P 179

○建設中は、岡谷市のごみの焼却処理を諏訪市、下諏訪町等で行う予定

→**諏訪市清掃センター、下諏訪町清掃センター一周辺の影響**

- ・ごみ収集車増加に伴う大気質の影響予測
- ・ごみ収集車増加に伴う騒音振動の影響予測



■岡谷市の可燃ごみを受け入れる諏訪市清掃センター、下諏訪町清掃センターに近く、ごみ収集車が集中する箇所を調査地点に選定。

▲ : 調査地点 (大気質、騒音、振動)
➡ : ごみ収集車の流れ

建設中の岡谷市の可燃ごみの運搬

特徴③

岡谷市内を通行するごみ収集車の増加

方法書 P 143,145,146
P 161～P 179

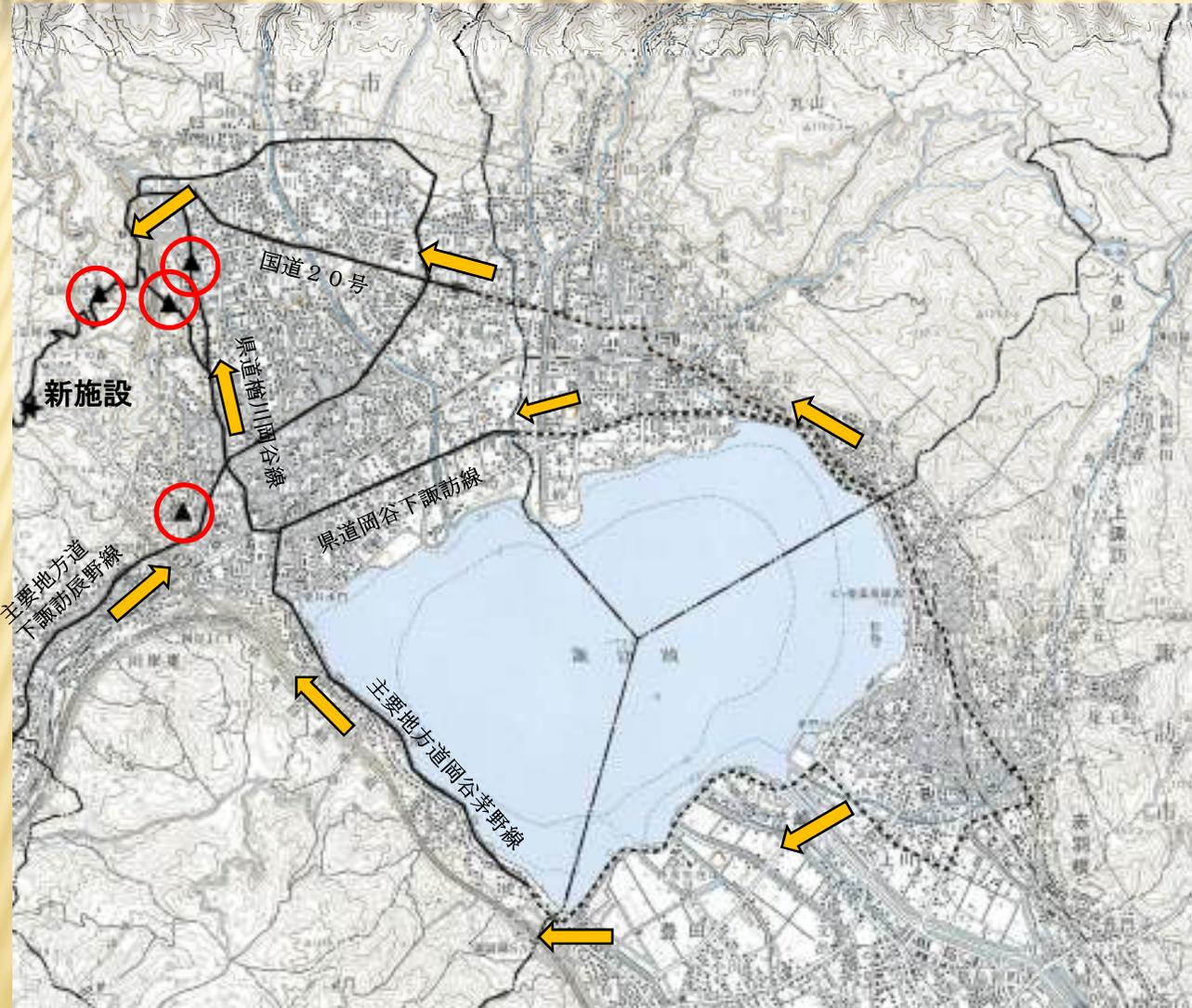
○稼働後は、岡谷市内のごみ収集車の通行台数が増加する

(諏訪市、下諏訪町のごみを岡谷市へ搬入)

→**ごみ収集車の通行ルート沿道への影響**

- ・ **通行ルート沿道の大気質の影響予測**
- ・ **通行ルート沿道の騒音振動の影響予測**

稼働後のごみ収集車の通行ルート



■ごみ収集車が集中する箇所を調査地点に選定。

- ▲ : 調査地点
(大気質、騒音、振動)
- ← : ごみ収集車の流れ

稼働後の可燃ごみの運搬

特徴④ 施設の解体

方法書 P 143
P 161～P 169

○現施設の解体撤去

→ダイオキシン類、アスベストの飛散の
可能性

- ・ダイオキシン類対策の明確化、定性的予測
- ・アスベスト対策の明確化、定性的予測

解体時のダイオキシン類対策の例



施設の目張り養生の例



作業員の暴露防止の例



集じん機による負圧管理、排気の浄化の例



施設内の除染（高圧洗浄）の例

■ダイオキシン類、アスベストの飛散防止対策を環境影響評価の中で明確化する。

特徴⑤

都市公園（鳥居平やまびこ公園）に隣接

方法書 P 158
P 206～P 209

○自然豊かな市民の憩いの場に隣接

→**触れ合い活動の場に対する影響の可能性**

- ・交通に与える影響（渋滞）の予測
- ・工事中の騒音、振動、低周波音の予測
- ・稼働後の騒音、振動、低周波音の予測

憩いの場と清掃工場



■公園の利用者のアクセスへの影響や、騒音、振動、低周波音による影響の有無、程度を予測。

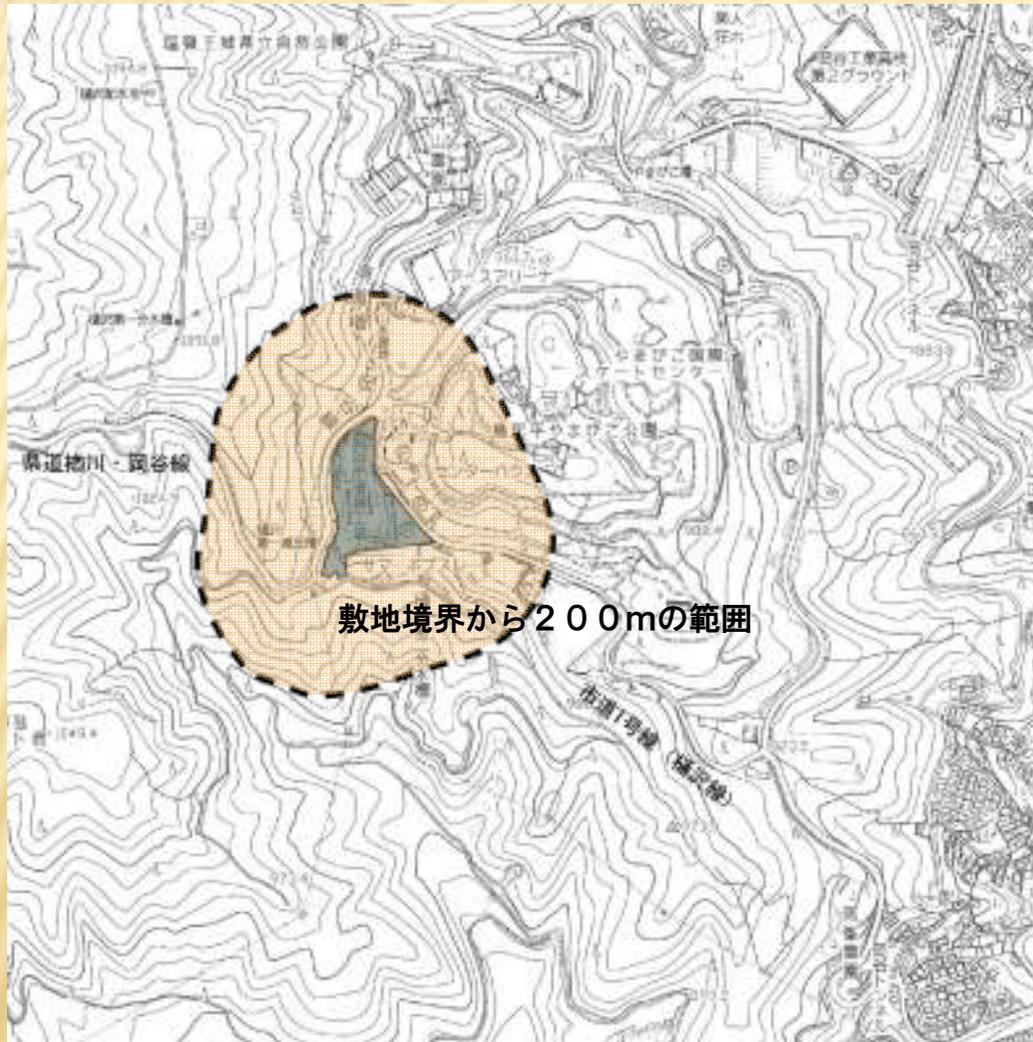
特徴⑥

現在の焼却施設の敷地内での建設

方法書 P 117～120
P 148,154～157
P 159～205

- 地形の改変、樹木の伐採等は敷地内に限定
- 現施設の敷地内に同じ目的の施設を建設する
 - 影響のない、又は小さいと考えられる評価項目がある
- 影響がないと考えられるため、地盤沈下、文化財を評価項目から除外
- 悪臭、植物、動物、生態系、景観については影響は小さいと考えられるものの、評価項目として選定

動植物の調査範囲（植物、動物）



■施設からの騒音、振動や場内照明による影響を考慮して、敷地境界より200mを調査範囲と設定。

植物、動物の調査範囲

動植物の調査範囲（猛禽類）



■ワシタカ、フクロウが営巣している可能性を考慮して、建設地から1 kmを調査範囲と設定。

ワシタカ、フクロウの調査範囲